

カトリック 三田小教区報

2024年 4月号(No. 258)
三田市屋敷町8-15 TEL 079-562-4404 FAX 079-562-9404
発行責任 神田 裕神父 編集: 宣教委員会広報部

終わり方がしは生き方がし

桜は《散る》 梅は《こぼれる》 菊は《舞う》 牡丹は《崩れる》 椿は《落ちる》 朝顔は《しぼむ》 紫陽花は《しがみつく》などなど、花の終わり方はそのあり方を見てさまざまな言葉に表現される。

「花は散り際が美しい」と利休はいう。完全無欠を好まず、完璧を崩すことで、わびの境地へと導く。無駄なものを削りながら、最後に残るのは素の自分。慎ましく質素なものの中に奥深さや豊かさなどを見る。この時代にあって価値を転換、破壊して新たな価値を生み出す。それが茶の湯の世界ということか。利休の最期は、切腹を命じられ、権力者に対峙して散っていく。そして茶の湯は永ごうの命を得ることとなったと。

完璧なまでに積み重ねられた掟の中にあって、最後に残るはこの掟。「心を尽くし、精神を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい。そして隣人を自分のように愛しなさい」。自己の完全無欠ではなく、完璧さでもなく、無駄なものを削りながら、貧しさの中に真理を見出し、与えられたいのちに気づく。「新しいぶどう酒は新しい革袋に」。この時代にあって価値を転換、破壊して新たな価値を生み出す。権力者によって十字架につけられ、死ぬことによって復活のいのちへと導かれる。死からいのちへと、パンとぶどう酒の中に永遠のいのちを得る。

茶の湯は仏の教えに悟りを得るが、戦国の世にあって、キリストの教えはその中に見え隠れするのではと勝手に妄想する。道具から空間、そして人そのものへと、そのあり方を追求する。日本文化の中にキリスト教は馴染みにくいとされるが、果たしてそうなのか。

終わり方がしは生き方がし。あなたの終わり方は何とする。

2024年、主のご復活おめでとうございます。

三田教会 神田裕

4 月 教 会 行 事			※ミサ前、各自で静かに祈って下さい。 ※週日(水・金)のミサ:9時30分(司祭不在時はありません)
1	月		
2	火		
3	水		
4	木		
5	金		
6	土		祭壇花当番:西地区
7	日	復活節第2主日 (神のいつくしみの主日)	ミサ:午前9時30分 【司祭召命を求める祈り】 清掃当番:東・北(敷地外周)／西(聖堂)／中(トイレ)／南(集会室・前庭)
8	月		
9	火		
10	水		
11	木		
12	金		
13	土		祭壇花当番:東・北地区
14	日	復活節第3主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(聖堂)／西(トイレ)／中(集会室・前庭)／南(敷地外周) ポルトガル語ミサ:午後3時
15	月		
16	火		
17	水		
18	木		
19	金		
20	土		祭壇花当番:南地区
21	日	復活節第4主日 世界召命祈願の日	ミサ:午前9時30分 初聖体式 清掃当番:東・北(トイレ)／西(集会室・前庭)／南(聖堂) 中／(敷地外周→中止):ストーブ片付・扇風機・エアコン清掃
22	月		
23	火		
24	水		
25	木		
26	金		
27	土		小教区報印刷日 祭壇花当番:中地区
28	日	復活節第5主日	ミサ:午前9時30分 清掃当番:東・北(集会室・前庭)／西(敷地外周)／中(聖堂)／南(トイレ) 地区集会
29	月	【昭和の日】	
30	火		

※ 5月のミサの朗読・共同祈願担当地区は → 西地区です。

※新型コロナウイルス感染症対策などで、行事等が中止になる場合があります。